

時を恐れず、鏡に微笑んでいたい 40代50代の美容バイブル

夢の4回転アクセルへ——

氷上の最強戦士 **羽生結弦**

「挑戦こそ人生!」強く美しい生き方

女優 美容家 ヘア・メイク モデル トレーナー
ドクター インフルエンサー 美魔女

「美」につまずいたとき頼りになる人、39人全員集合!

2022版 美容スタア☆名鑑

美ST

be-story.jp

[美スト]

02 COVER
羽生結弦選手

570×410mm
特大ポスター
付き

FEBRUARY
2022

特別付録

くすみ落とし洗顔、
美容液ファンデの2大名品

ポーラ B.Aの
2021年・ベストコスメ
お試しセット

ディープクリアライザー1包、
ハイドレイトニング
カラークリーム2包



全13色の中から
お試し1枚



増刊特別付録

「いちばん盛れる、
最強不織布マスク
それどこの?
ディーツーマスク
D.masqueの
褒められマスク

大人こそコスメ至上主義!
選ぶもので40代からの肌運命は変わる

マスク時代の THE ベストコスメ

2021年下半期
ベストSST
コスメ大賞発表!

デジタル
通販マガジン
「セレSTORY」
第128弾!



が集中!

トップ3は?

医療

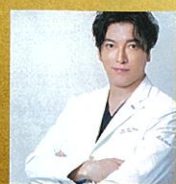
グランプリ発表!

けは様々ですが、美容医療業界のトレンドセッターも様変わり。またニューリーダーとウサコ連載常連ドクアルな本音と言えるかもしれません。

撮影/前田晃 (maetico) デザイン/中山千絵 取材/兵藤美香 編集/小澤博子



殿堂入り!
東京皮膚科・形成外科
院長 池田欣生先生



3回にわたり1位を受賞した池田先生は21年殿堂入り。池田モットー「バレない、腫れない」の教えは吉澤先生が美ST的スタンダードとして継続予定。

第1位

「とことん聞きます」からはじまる
吉澤流は、ナチュラル感大前提な
似合わせ美容医療



ニューフェイスエステティッククリニック 院長
吉澤秀和先生

「この度は、このような名誉ある賞を美容医療業界のトップランナーの先生方とともに選出して頂きまして、身に余る光栄に存じます。私は池田欣生先生から学んだエッセンスに自分なりの特色を加え、『自然な美容医療・アンチエイジング治療』を追求してまいりました。今後も名誉ある賞に恥じないために、更にご期待に沿い、超えていけるよう、美容医療に真摯に向き合っていければと思っています。一人でも多くの読者の方の笑顔のために」



カメラマン
中林 香さん (48歳)

「ウサコ連載で数多のドクターにお会いしましたが、施術中の恐怖心を取り去り安心させてくれるドクターは初めて。美容医療の入口ってそこからですか」

美STライター
佐藤保子 (49歳)

「自分が気がついていないことを気づかせてくれたり、予想外の提案だったり、何気ない後押しだったりって大切なんだと吉澤先生と出会って再認識です」

ニューフェイスエステティッククリニック

港区麻布十番4-1-1 MAXPLAN AZABU10ビル5F ☎03-6722-6795 通いやすいクリニックをコンセプトに'21年オープン。こじんまりとありますが、吉澤先生のコミュニケーション力でしっかりカバー。カジュアルな雰囲気とはいえ、美意識高めハイエンド女性の出入りも。ハードル高めのリクエストももちろんOKです。形成外科専門医としてのぶれない、はみ出さないコンサバ治療に美しさおトッピング。その「美しさ」が難しいのですが、そこは感性とセンスが勝負の美容外科医。初入賞とはいえ、人の心がしっかり読めるプロの仕事が頼もしい。

主婦
平田道子さん (45歳)

「ファーストボトックス、ナチュラルさが気に入り目元のオベも。納得いくまで何度も何度もカウンセリングしてくださったお陰で想像以上の仕上がりで大満足」

会社員
牧原礼子さん (40歳)

「美STを見てスマイルハイブに通うように。鏡を見ながら施術できるので、もう少しこのあたりをこうしたい! など先生と一緒にしたい顔を造る感覚」

「バレたら失敗、腫れたら失敗。池田先生の教えのもとに、よりトータルな美しさを突き詰めながら、美ST読者のホームドクターに」

オベ、注入、マシンとマルチだから、治療提案も偏らずに安心です

ウルトラセルQプラス



座って照射することにより、リアルなたるみや悩みもしっかり把握。鏡を見ながらドクターと患者、二人三脚で造顔の無痛ハイフ。

眉下切開



「デザインにこだわるのは当たり前なのですが、透明糸で切開部位を細かく縫うことで、抜糸前後のダウンタイムを最小限に。また少しでも社会生活を損なうことなく、仕上げるのが大切だと考えます」

ヒアルロン酸注入



ナチュラル注入はメイクアップ感覚で。ヒアルは一度入れたら長いお付き合い。長所を引き出す注入法が◎。

PRP



皮膚を厚くしハリ感をアップするPRPは長期的な結果を期待。ヒアルのむくみ感がNGな人にはPRPも選択肢。



どんな表情も不自然ではない美STビューティが僕の目指す最終形

美ST恒例3名の華やかショット！ 2022年も美容医療を更に身近に、 盛り上げてくれそうな先生方に期待大！

今日のこの場を決して忘れず、読者の方と共に幸せになれる美容医療を目指します

上質な美容医療をクオリティ落とさず敷居を下げてお届けします

たまに撮影は夜中まで、たまに休みなし。うまくいくこともあれば、いかないことも。嘘偽りなく真面目に作るこの連載、ドクターの努力なしでは語れません。そんな中、美STにとっての美容医療の方向性を毎月、一緒に考えてくださるドクターたち。メンバーは変われど清々しい表情に'21年も感謝。



美STファミリードクターは現在、女医が3名。美ST誌面のあらゆる企画にて幅広く活躍中です。ドクターならではの視点を生かした企画はもちろん、ときには読者目線のコメントも。'22年はメンズ美STファミリードクターも結成予定。

登場と共にスタッフから歓声が上がった自信に満ちた奥村先生の美しさ。ドレスはメーガン妃のレッドドレスが記憶に新しいキャロリーナヘレラ、ピアスはブシュロンのセルバンポエムで。「どちらも一目惚れです♥」

カメラの前は美の特等席。タインの度にスタジオに大輪の花が咲き誇る



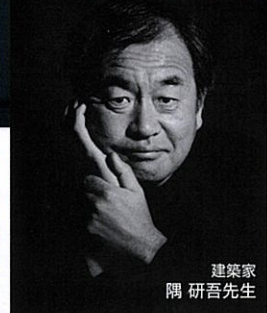
年々厳しくなる選定基準、'21年も複合的要素が勝因に

エステよりの美容皮膚科ブームからオペもOKなクリニックに移行中です。そんな流れは今回のドクター陣からも一目瞭然。10年前には考えられなかった新たな価値観に驚きを隠せません。最短で結果を導くためにはどうすればいいのか。美容皮膚科的な提案だけでなく、オペを含めた提案ができるドクターが選ばれる、そんな風潮があるようです。新たな流れをふまえながらも、クリニックは数えきれないほど存在しますし、選ぶのさえひと苦労。コミュニケーション能力、ホスピタ

リティ、技術力、ラグジュアリー感、場所：。今回選出された3院はそんな条件の美ST的平均値が期待できます。総合的に満足度が高いクリニックが時代のニーズと言えるでしょう。



限 研吾×Dr. ウサコ・東京オリンピックスペシャルトロフィーを'21年も授与！



建築家 隅 研吾先生

東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々で現在もプロジェクトが進行中。東京オリンピックスタジアムにちなみトロフィーデザインを依頼。ドクターグランプリトロフィーデザインはスタート時から、隈先生のその時々デザインが生かされた貴重なプライズレストロフィーは、美STオリジナル。



ベスト3ドクターは、Web、美魔女、スタッフ。投票から厳正なる審査のもと選出されます。

蓋を開けてみるまでわからないと言われてるのがドクターグランプリ。誌面での登場回数が多いほど投票者の心にインプットされる可能性は高く、イコール票数にも繋がる傾向が。「今年は誰なんだろう」年の瀬を感じるのはその会話に耳にしたとき。

